

安八町 全域

令和3年度

## 【安八町の概要】

- 担い手 農業法人 3法人 集落営農 2組織 認定農業者 23人 農家 860件 小規模農家が多い
- 農地 圃場整備が遅れており、町内全域が用排水未分離  
農地の集積・集約が進んでいない
- 機構利用 低調

## 令和3年度の取り組み

- 取組地区  
安八町森部地区
- 担い手の明確化  
農業委員が農業者に積極的な聞き取り等を行い、地域の担い手を明確化。同時に、口約束により耕作を行っていた農地の把握にも努めた。
- 耕作状況地図の作成  
農業委員が収集した情報を元に、今後の農地利用を話し合うための基礎となる新たな地図を作成した。
- 話し合い  
農業委員が声かけを行い、担い手を集めた話し合いを行った。

## 取組みの成果と反省

- 話し合いの成果  
担い手間において、今後の集約化に向けて協力していく旨の意思統一ができたとともに、地域内外から担い手が集まったことで、初顔合わせとなった者もあり、意思疎通を図る上で一定の成果があった。
- 反省点  
コロナ禍で話し合いの場を設けることが困難であることから、話し合いの回数を重ねることができなかった。また、担い手同士の耕作地が入り乱れていることや、それぞれに主張があることから、調整には時間がかかることが予想される。

## ③今後の展開と方向性

- 今後の展開  
担い手の意向を考慮しつつも、農業委員会として具体的な集約の方法や方向性を示し、話し合いの流れを作っていく。その中で担い手のエリア分けや将来図を作成し、提示していくことで、集約の加速化を図る。

